

【二】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

ヨーロッパの寒い国に、秋から冬に行ったときだけ思い出す、ある気持ちがある。

空がとても高く風は冷たく、夜道は真つ暗。とても淋しいのに全てが美しく見えるあの気持ち。

自分はひとりでもここにいてという不思議と強さがある気持ちだ。

それは幼い頃の秋に感じた気持ちだとわかった。

夏休みで帰省^①していた姉が、秋^aになればまた大学のある京都へ行ってしまう。

急に空が高くなり、風が冷たくなる。秋の初め^bにあるお祭りに家族や同級生といっしょに行くんだけど、姉が家にいなくてがらんとしていることと、なんだか急に夏が終わってしまったことが重なってなんとなく気持ちは浮か^cない。

(1) 泣きたいような気持ちまではいかず、だれかに打ち明けたいほどの苦しみでもない。でも切ないし苦しいしなによりも淋しくてしかたない。

¹あのとときの気持ちに、ヨーロッパの秋は似ているのだった。

ヨーロッパの人たちが作り出しているドクトク^②のゆつくりした、または行き場のない^dようなテンポは、東京とは違^{ちが}う。

今の東京は、風が冷たいから淋しいなどと思っていれば、置いていかれてしまうような忙^{いそが}しさだ。

(A)、当時の東京にはまだそんなふうな感情がゆつくりと空中をさまよっていくのを見ている隙間^{すきま}みたいなものがたくさんあった気がする。

日曜日^eにただ窓の外を見ていただけで一日が終わってしまい、なんとなく虚^{むな}しくなる、そんな気持ちもつと豊か^fに生きていたような気がする。

がする。

もしかしたらそれは私の年齢のせいで、若い人たちは今もそんなふう^③に豊かな時間をユル^③されているのかもしれない。

(B)、たつたひとつ違^{ちが}うと言^い切^りれることは、今の時代はその気持^きちをなにかに結^むびつけ成長^{せい}させないとい^いけない雰^{ふん}囲^い気^きにあふれてい^いるということだ。予^よ定^{てい}がないこと、淋^{しみ}しいこと、会^あいたい人^{ひと}に会^あえ^ない^こと、そんな気持^きちはなるべくないほうがい^いいと、なにかに置^おき換^かえたり、習^ない事^{こと}をし^したり、前^ま向^むき^に行^い動^{どう}し^したりし^ない^ことだめなよう^なな、そんな空^く気^きがあるとい^いうことだ。

もちろん悩^{なや}みながらなんとなく暗^くい気持^きちで家^いで (2) して^いるの^は、当^た時^じから別^{べつ}に推^お奨^{しょう}さ^れて^はい^なか^った。

でも、そういうとき^④つてあるよ^ねとい^いうテ^イド^④です^んだ^ような^気がする。楽^{たの}だ^つた^なあ。

いつか、十一月のトスカーナ地方に、イタリア在住の友人たちと旅をしたことがある。思^おえ^ばす^でにその頃^{ころ}から私^{わたし}は無^む邪^{じゃ}気^きさを失^うい^つつあ^つたが、友人たちも若^{わか}く今^{いま}に比^ひべ^てず^つと時^じ間^{かん}が^あり、ぶ^らり^とし^た旅^{りょ}を^好ん^でよ^く出^で歩^いて^いた。

今^{いま}は^お互^{たが}いに働^たき盛^{さか}りの年^{ねん}齢^{れい}にな^つて^しま^い、あ^まり^にも忙^{いそ}が^しすぎ^て会^あう^こと^さえ^まま^なら^ない^ことだ。ただひたすらに香^{かう}水^{すい}の香^かりを嗅^かいだり、小^こさな街^{まち}の裏^{うら}道^{みち}を歩^あき続^つけ^{たり}、見^み知^ちらぬ素^そ朴^{ぼく}な教^{きやう}会^{かい}を見^み物^{ぶつ}して回^{まわ}つ^たり^して^いた頃^{ころ}が、今^{いま}とな^つては懐^{なつ}かしい。あ^のと^きも空^{そら}は (3)、同^{どう}じ^よう^に人^{ひと}生^{せい}の淋^{しみ}しさは^しみ^てき^てい^たの^だが。

(吉本ばなな「毎日^{まいにち}つていいな」より)

注 トスカーナ地方：イタリアにある州

問一 〓線①～⑤の漢字は読みを答え、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 〓線A、Bの言葉の意味をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

A 推奨され	
ア	人に認められ
イ	人にすすめられ
ウ	人に知られ
エ	人に非難され

B ままならない	
ア	そのままではいけない
イ	まともにはならない
ウ	ふつうではない
エ	思い通りにならない

問三 □ a、b、e、fの「に」のうち、他と言葉の使い方の違うものを一つ選び、記号で答えなさい。

また、□ c、d、g、hの「ない」のうち、他と言葉の使い方の違うものを一つ選び、記号で答えなさい。

問四 (A) (B) に共通してあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア でも イ だから ウ つまり エ また

問五 (1) (2) にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。(記号は一度しか使えません。)

ア どきどき イ ごろごろ ウ ふらふら エ わくわく オ おいおい

問六 (3) にあてはまる言葉を文中から二字で抜き出して答えなさい。

問七 この文章には、次の一文が欠けています。入るべき所の直後の五文字を抜き出しなさい。

私は同じ気持ちをいつどこで感じたのか考えてみた。

問八 —線1の「あのときの気持ち」とはどんな気持ちを表していますか。次から選び、記号で答えなさい。

ア 夏が終わってしまっても、泣きたいような気持ちが起こらず、誰にも打ち明けられない苦しい気持ち。

イ 夏が終わり、帰省していた姉が帰り、なんとも言えず、さびしく切なくなった気持ち。

ウ いままでいっしょに暮らしてきた姉が家を離れ、どうしようもないさびしさを感じた気持ち。

エ ヨーロッパから帰つてみると、すでに夏が過ぎ去っていて、さびしさがこみ上げてきた気持ち。

問九 —線2の「その気持ち」を具体的に表していることを、—線2の後から二つ抜き出して答えなさい。

問十 —線3のうち、「懐かしい」の主語はどれですか。記号で答えなさい。

①見知らぬ ②素朴な ③教会を ④見物して ⑤回つたり ⑥して ⑦いた ⑧頃が ⑨今と ⑩なつては 懐かしい

問十一 この文章の内容にあてはまるものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ヨーロッパの寒い国では、どこでも私の若いときに感じたさびしい気持ちを体験できる。

イ ヨーロッパの時間の流れと、日本の時間の流れは全く違うので、いっしょにしてはならない。

ウ 当時の東京には、悩みながら暗い気持ちでいることを、「そんなこともあるよね」と受け入れる空気があった。

エ 日曜日に窓の外を見て、一日が過ぎて虚しくなることを許されるのは、当時の若者の特権であった。

【二】 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

あはれ子の夜寒の床の引けば寄る 中村汀女

秋も終わりのころになると、夜は寒さが忍びよってくる。幼いわが子の眠っている寝床を自分の寝床の方へ寄せようとして引くと、思わぬ軽さで動いたのだ。句の表には「引けば寄る」とだけ、母親である自分のドウサと子の寝床の動きのみを記すが、そのこと1もなげな言い方の裏に、眠る子供の意外なほどの軽さに対する母親の驚きを読みとらねばならない。その驚きが「（ 1 ）」なのであり、この一句を引き出す直接の力になっている。「あはれ」とは「ああ」というほどの、やや古風な嘆息の言葉である。ものの軽さがものあわれを誘うということ、これは日本人にとってはデントウ的な感じとり方である。石川啄木には「たはむれに母を背負いて／そのあまり軽きに泣きて／三步あゆまず」というよく知られた歌もあるが、このような軽さのあわれをもつとさかのぼり、つきつめてゆくと、おそらく『源氏物語』夕顔の巻や『伊勢物語』の芥川などにあらわれる失せるあわれ、かき消えるあわれ、すなわち、露の命のあわれにまでつながってゆくはずである。ともあれ、この句には、わが子の小さな命への母親の（ 2 ）が5あふれるばかりである。ツウジョウウの俳句の5・7・5のリズムを、さらに細かく（ 3 ）に区切り、心のふるえが、そのままさざ波のような音のリズムになったかのようなようだ。

（佐中雅徳編「俳句創作鑑賞ハンドブック」所収 長谷川権の文章より）

問一 線①～⑤の漢字は読みを答え、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 中村汀女の俳句の季語を抜き出しなさい。また、季節を次から選び、記号で答えなさい。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

問三 — 線1の「こともなげな」の意味を次から選び、記号で答えなさい。

- ア あたたかそうな イ むやみやたらな ウ 何事もないような エ 乱れてしまうような

問四 (1) にあてはまる言葉を、俳句から抜き出しなさい。

問五 — 線2の「直接」の対義語を漢字二字で答えなさい。

問六 — 線3の「露の命のあわれ」は何を表していますか。次から選び、記号で答えなさい。

- ア 露のようにすぐに消えてしまいかねない、はかない命をいつくしむ思い。
イ 露のように小さい存在が、必死に生きている事に対して感動する思い。
ウ 露のようにたくさんの子供たちに対して、愛情を注いでいこうという思い。
エ 露のように消えてしまう命を、ずっと観察していこうとする思い。

問七 (2) にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア いとおしみ イ かなしみ ウ したしみ エ あわれみ

問八 (3) にあてはまるリズムを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 2・3・4・3・3・2 イ 3・2・3・4・3・2
ウ 3・2・4・3・3・2 エ 3・2・5・2・3・2

【三】 次の1～5のそれぞれの漢字に共通してつくことで、新しい漢字を完成させる部首を後から選び、記号で答えなさい。

(例) 青・月・召・寺 解答Ⅱケ(ひへんⅡ晴・明・昭・時)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 己・舌・丁・正 | 2 刀・告・米・首 | 3 工・氏・田・色 |
| 4 夜・主・先・原 | 5 合・寺・相・間 | |

- | | | | | |
|----------|----------|----------------|--------|--------|
| ア にんべん | イ いとへん | ウ きへん | エ ごんべん | オ さんずい |
| カ たけかんむり | キ くさかんむり | ク しんによう(しんにゆう) | ケ ひへん | |

【四】 次の1～5の作品の作者名を後から選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|-------|---------|----------|------|-----------|
| 1 方丈記 | 2 走れメロス | 3 おくのほそ道 | 4 雪国 | 5 ノルウェイの森 |
|-------|---------|----------|------|-----------|

- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| ア 赤川次郎 | イ 松尾芭蕉 | ウ 川端康成 | エ 清少納言 | オ 村上春樹 | カ 太宰治 | キ 鴨長明 |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|

【五】 次の1～6の慣用句の（ ）にあてはまる言葉を後から選び、記号で答えなさい。

- 1 () が届く………注意が十分いきわたること。
- 2 () を巻く………ひどくおどろき、言葉も出ないこと。
- 3 () を持つ………味方になって助けること。
- 4 () をみがく………もつとうまくなるように練習すること。
- 5 () が遠のく………行きなれたところに行かなくなること。
- 6 () を結ぶ………力を合わせて事にあたること。

ア 手 イ 足 ウ 肩 エ 腹 オ 舌 カ 目 キ 腕^{うで}

国語解答

小計40点

【二】

2点×5 問一	①	帰省 きせい	②	ドクトク 独特	③	ユル 許され	④	テイド 程度	⑤	裏道 うらみち
------------	---	-----------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	------------

2点×2 問二	A	イ	B	エ
------------	---	---	---	---

2点×2 問三	に	f	ない	d
------------	---	---	----	---

2点 問四	ア
----------	---

2点×2 問五	1	オ	2	イ
------------	---	---	---	---

2点 問六	高	く
----------	---	---

3点 問七	そ	れ	は	幼	い
----------	---	---	---	---	---

3点 問八	イ
----------	---

完答3点 問九	・予定がないこと	・淋しいこと	・会いたい人に会えないこと
------------	----------	--------	---------------

2点 問十	⑧
----------	---

3点 問十一	ウ
-----------	---

小計28点

【三】

2点×5 問一	①	ドウサ 動作	②	意外 いがい	③	デントウ 伝統	④	背負 せおいて	⑤	ツウジヨウ 通常
------------	---	-----------	---	-----------	---	------------	---	------------	---	-------------

2点×2 問二	季語	夜寒	季節	ウ
------------	----	----	----	---

2点 問三	ウ
----------	---

2点 問四	あはれ
----------	-----

2点 問五	間	接
----------	---	---

3点 問六	ア
----------	---

2点 問七	ア
----------	---

3点 問八	ウ
----------	---

小計10点

【三】

1	エ	2	ク	3	イ	4	オ	5	カ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

小計10点

【四】

1	キ	2	カ	3	イ	4	ウ	5	オ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

小計12点

【五】

1	カ	2	オ	3	ウ	4	キ	5	イ	6	ア
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---